

## (8) 男性の育児休業利用状況

男性の育児休業利用割合は、5.8%と上昇傾向にあるが、依然低い水準となっている。

事業所における男性の育児休業利用割合は、前年度に比べ0.8ポイント増加して5.8%となりましたが、依然低い水準にあります。

グラフ19



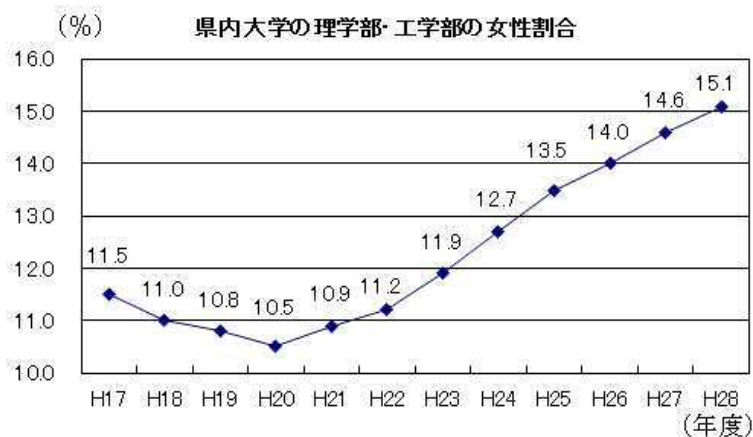
## 3 教育

### 1 県内大学の理学部・工学部の女性割合

県内大学の理学部・工学部の女性割合は、15.1%と8年連続で増加している。

平成20年度以降、県内の理学部・工学部の女性の割合は増加の傾向にあり、平成28年度は15.1%となっており、前年度より0.5ポイント増加しました。

グラフ20



(H18までは、「神奈川の大学統計」より作成)

(H19以降は「神奈川県学校基本調査結果報告」により作成)

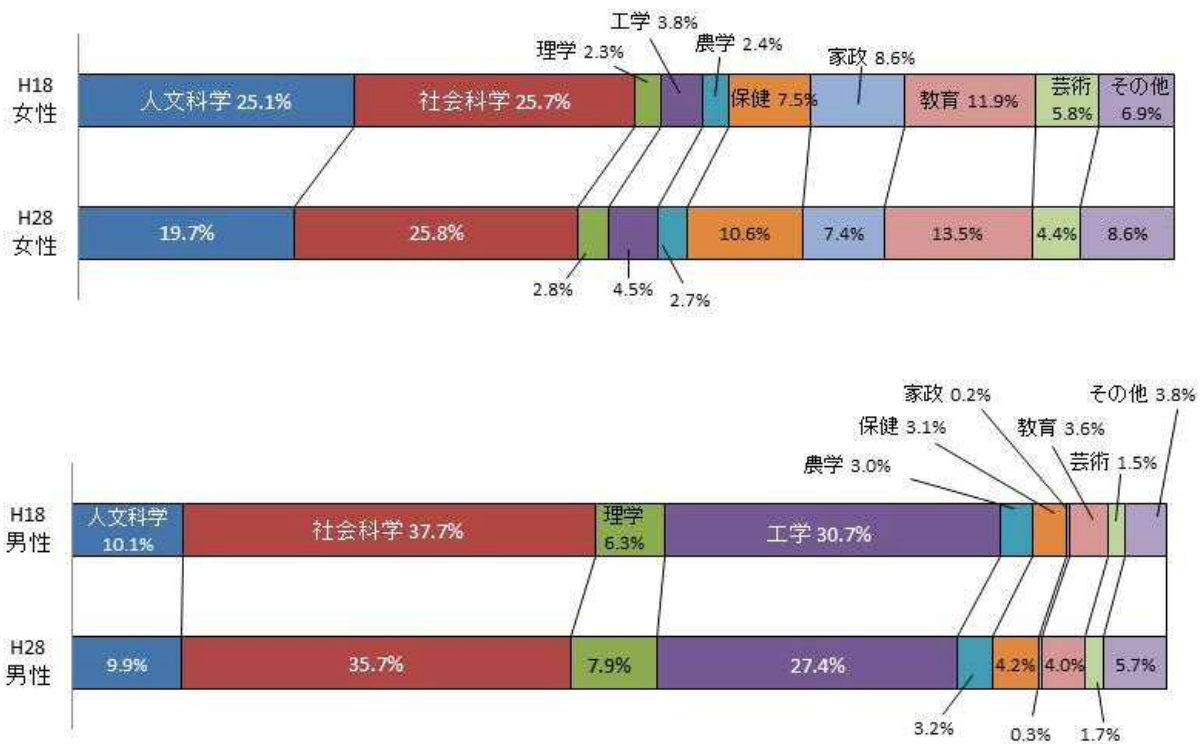
## 2 県内公立高等学校等卒業者の大学・短期大学の進学状況

県内公立高校等卒業者の女性の理・工学部への進路選択は、人文・社会科学部に比べると依然として少ない。

平成 28 年度の「公立高等学校等卒業者の進路状況調査」で、県内公立高等学校等卒業者の進学状況は、学部別にみると、人文科学、社会科学に進学する女性は減少傾向にあるほか、男性と比べて理・工学部への進路選択が少ない状況です。

平成 18 年度と比べると、女性は、理学部が 2.8%で 0.5 ポイント、工学部が 4.5%と 0.7 ポイント増加しました。

グラフ 21 大学・短期大学の学部別割合



(神奈川県「公立高等学校等卒業者の進路状況調査」より作成)